

○ 有松まちづくりの会役員会 (11月28日)

①「第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会」準備会開催 (11月7日・24日)

来年11月17日(金)～19日(日)に開催が予定されている「第40回 全国町並みゼミ名古屋有松大会」の実行案(大会のテーマ、分科会、運営組織等)の検討が、全国町並み保存連盟・名古屋市と共に始まりました。大会参加者が数百名に達する大事業です。

事業内容等がある程度固まり次第、その都度情報を出していきます。

②「福よせ雛 有松さんぼ道」について(同実行委員会)

来年2月25日(土)～3月26日(日)に開催を予定しています。

○ 重伝建選定祝賀行事

①文化財建物などのライトアップを実施(11月12日)

中濱邸、井桁屋、棚橋邸、服部良也邸の特徴となる一部をライトアップしました。強い光のライトアップでなく、有松らしく・柔らかく・上品な照明で行われました。

②記念植樹を実施(11月19日、ありまつ公園)

鈴木義光記念植樹責任者の司会・進行で記念植樹式が関係者出席のもと、ありまつ公園で開催され、公園北側にソメイヨシノ2本が植えられました。

公園には既に桜の老大木があり、毎年大木いっぱい美しい花を咲かせていますが、引き継ぐ若い桜が植えられ、縁起のいい植樹であるとの話も出ていました。清く力強く成長するようお清めの塩も撒かれ、そろって美しいさくらの花を咲かせるのが楽しみです。



お清めの塩を撒く

③提灯行列について(11月19日、有松東海道)

前日、雨天予報にもとづき、残念ながら提灯行列は中止と決定されました。

今後の活用方法については、大晦日に有松東海道を提灯で明るくし、天満社初詣の深夜に提灯をもって、お参りに行っていただくことなどを検討中です。

○ 有松桶狭間観光振興協議会(11月22日)

①第13回有松桶狭間観光振興協議会総会開催について

平成28年12月15日(木)13:30から絞会館で開催されます。

記念講演は『名古屋の歴史的町並みとまちづくり』と題し、溝口正人先生がお話をされます。

②町並み案内所開所式について

開所式は、平成29年1月15日(日)9:30から絞会館駐車場で行われる予定です。

○ 「歴史まちづくりパネル展」開催（10月25日～11月6日、歴まち室）

有松の町並みが重伝建選定を受けたことを記念し、名古屋都市センターで、有松の町並みの魅力をパネルで紹介しました。特に文化財となっている建屋について詳しく紹介され、その他伝統的建造物や環境物件に特定された門・塀・石積・水路・樹木等が説明されていました。

また、町並み調査結果や「なごや歴史的建造物保存活用工事助成」制度の案内とその制度を活用中の「絞りライブラリカフェ」が紹介されていました。

○ 「晩秋の有松を楽しむ会」開催（有松東海道一帯、11月12・13日）

有松らしさを沢山ちりばめたイベント「晩秋の有松を楽しむ会 2016」が有松東海道一帯で開かれました。

また、協賛事業として、文化財のライトアップや竹あかり、第9回いけばな展や親子いけばな教室作品展、やっとかめ文化祭での雪花絞りの体験などが行われました。

両日とも好天に恵まれ、参加された多くの和服姿の御婦人方を含め有松を楽しむ方が大勢来られ、華やかで落ち着いた町の風情を醸し出していました。



和服を着た人の勢揃い

○ 第9回有松コミセンまつり 開催される（11月19日・20日）

今年は「重伝建選定記念事業」として開催され、階段踊り場にパネルで重伝建選定を説明していました。

コミセンを活動の場としている団体の内、11団体の作品展示（コミセン1・2F）と6団体の発表会（有小体育館）が行われました。

あないびとの会は、「有松へ来訪された人たち」として徳川14代将軍家茂や天皇陛下（皇太子時代）などを取り上げ、解説。2階和室は休憩室となり、テレビに映る山車まつりの「出御の儀」「御神幸」「還御の儀」など見たことのない映像に見入っていました。



あないびとの会の展示物

○ 「観光の視点から見る有松の魅力」（11月1日）

重伝建選定を記念した緑生涯学習センター主催の講座が、棚橋邸と町並みで開かれました。講師は、平成24～25年に有松の町並みを調査した名市大の溝口先生でした。

講演で先生は、豪壮な絞商の建物の特徴は、そこから時代の変化を感じ取れることだと言われました。実際、その後のまち歩きで、時代が新しくなるにつれて2階の高さが高まっていることに気づかされました。こんな発見ができるまち歩きは、楽しく魅力的でした。最初に先生が「町並みの魅力が、観光に結びつく」といわれたことが思い出されます。



実物で魅力の説明を受ける

①有松まち歩き (11月2日)

有松にある三つの宝を知ってもらいました。

最初は、山車です。山車会館に入館し、布袋車を見てその豪華さにビックリ。DVDで、からくり人形をのせた山車が東海道を曳き廻されている様子に歓声があがりました。

二つ目は、町並みです。塗籠造、なまこ壁、連子格子、重厚な土蔵などの伝統的建造物には、みなさん目を引かれていました。

三つ目の絞りについては、「庄九郎となかまたち」の紙芝居で絞りが出来たいきさつを知り、弁士の語りに全員が拍手されていました。

まち歩きで、有松の魅力をお伝えでき、大変良かったと思います。

なお、「近世の曙」の場である桶狭間のまち歩きは、11月10日に行われました。

②寺子屋「重伝建有松」の来仕方行く末を考える 井澤知且先生 (11月5日)

「やっとかめ文化祭」のまちなか寺子屋講座として、名古屋学院大学の井澤先生が重伝建なった有松について講演されました。

- ・有松重伝建を資産にして、観光に活かしていくためには、年間を通してイベントの企画が必要。
- ・これからの観光は、体験するなど「学ぶ」が必要。

また、先に行われた「有松学区のふるさとづくり住民意向調査」のアンケート結果から、町並み保存地区とほかの地区とは、観光化に対する意識の違いや、重伝建についての認知度の差がある一方、歴史的な資産を持つ有松へのふるさと意識は、周辺部の比較的若い層の方たちに高いことが分かったことなどが語られました。

今後、重伝建の選定を活かしつつ有松学区全体のまちづくりを考えていくにあたって大変参考になる寺子屋講座でした。



参加者と記念撮影



熱心に講演を聞く参加者

○「竹あかり」が西町に灯る (11月12日)

晩秋の有松を楽しむ会に併せて、竹灯籠が西町東海道の飾られました。飾られた竹灯籠は600本、使用されたローソクは1500個で、夜の往還を幻想的に照らしていました。主催は「灯りのまちなみ」(代表:大島)で、ボランティア延べ200人で竹灯籠を製作しました。

また、この竹あかりがNHKで放映され、見た方から非常に美しい光景でしたと感想が寄せられました。

なお、この竹灯籠は、テレビ塔前のキャンドルナイトや名古屋城の新春カウントダウンイベントでも灯され、その後竹炭に生まれ変わるそうです。



点灯された竹燈籠

○ 第2回「有松・桶狭間観光魅力向上」ワーキング開催（11月25日）

名古屋市の「桶狭間周辺地域（有松地区）の魅力向上」の一環として、10年先を見据えた「有松・桶狭間観光戦略」を策定するワーキングが始まっています。メンバーは、有松桶狭間観光振興協議会加盟の団体からの推薦を受けた10名に、希望参加者を加えて開かれています。

今後、毎月開催し、来年度中に将来ビジョンを策定する予定です。

○ 重伝建のまち有松の伝統的建造物（その4 燈籠）

有松東海道の西側切り通し入口に1対の燈籠が建っています。

燈籠の正面には、「文章嶺（ふみのみね）天満宮」と刻まれています。

東側燈籠の右側面に「神徳昭昭光放家門」「祖業繁興永福兒孫」、西側燈籠左側面に「天保十三（1842）年壬寅春正月吉日」「竹田庄九郎直行」「服部清兵衛守信」

「久田伊左エ門庸治」と刻まれています。（現在は風化により判読不明のため、名古屋市山車調査報告書より転記）

なお、両燈籠の北側には、灯りを点ける踏み台（石）も残されています。



切り通し入口の燈籠

○ 催事・行事の予定

- ・12月04日（日） 07:30 かえで道清掃 まちづくりの会
- " 09:00 有松東海道青空市 商工会周り 商工会
- ・12月12日（月） 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・12月14日（水） 10:00 観光ガイド接遇研修 マナー講師 児玉美由紀氏 竹田邸
- ・12月15日（木） 13:30 有松桶狭間観光振興協議会 総会 絞会館
- " 14:30 講演会 講師 溝口正人氏 名古屋市立大学教授 絞会館
- ・12月18日（日） 07:30 かえで道清掃 まちづくりの会
- " 09:00 有松東海道青空市 商工会周り 商工会
- ・12月19日（月） 17:00 重伝建選定祝賀行事実行委員会 コミセン
- " 18:00 重伝建推進委員会 コミセン
- " 19:00 まちづくりの会役員会 コミセン
- ・12月21日（水） 14:00 第3回 全国町並みゼミ名古屋有松大会準備会 コミセン
- " 18:00 第3回 有松・桶狭間観光魅力向上ワーキング 絞会館 観光推進室
- ・12月23日（金） 13:00 まちなみ見学会 竹田家はなれ前
- " 15:00 講演会「有松再発見」 講師 渡邊義孝氏 竹田邸三番蔵
- " 17:30 絞りライブラリーカフェ「Shoukuro」お披露目 竹田家はなれ
- ・12月27日（火） 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 絞会館

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索